

第1章	全体のまとめ	3
第2章	人口動態	4
第3章	総合戦略 [3つの挑戦/政策パッケージ]	6
挑戦1	「ふくろい人」ひとづくりへの挑戦	8
挑戦2	「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦	14
挑戦3	「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦	20
第4章	戦略を支える取組	26
第5章	地方創生交付金の活用状況など	28

1 人口動態の概要

(1) 本市人口は87,983人（R4.4.1現在）となり、コロナ禍での婚姻・出産控えなどにより出生数は、年間600人台（前年比▲39人減）まで減少した。外国人の人口は、ほぼ横ばいで推移したが、日本人の転出超過（R3▲150人→R4▲14人）は回復傾向にあるものの、2年連続で**自然・社会増減ともに減少する人口減少局面が続いている。**

なお、**人口ビジョンで設定した目標人口に対しては、目標推計人口を上回る水準を維持している。**

(2) 他方、新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル化の進展により、自然豊かなゆとりのある生活環境に魅力を感じる人やテレワークにより**転職せず**に**地方で働ける人が増加**するなど、社会の価値観やライフスタイルが変化したことで**地方暮らしへの関心が高まっている。**

(3) 合計特殊出生率や他市町との比較は、県の統計データが公表された後（今秋公表予定）改めて整理します。

2 総合戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

挑戦1 「ふくろい人」人づくりへの挑戦

■ **学習ソフト「navima」を実証的に導入**し、個に応じた学びと協働的な学びの更なる推進を図るとともに、1人1台配備したタブレットの家庭への持ち帰りを実施し、授業と家庭学習の連動を進めるなど、ICT機器を活用した教育の推進に努めた。

■ 産業や社会のあり方が変化していく中でも活躍できる人材の地域ぐるみでの育成などを目指し、**市内高校・特別支援学校と地方創生に向けた連携協定を締結**した。

■ 新たなビジネスや市民活動などに取り組む意欲や能力を有する人たちの支援として、**創業を目指す人が気軽に挑戦できる場「チャレンジショップ」を開設**した。

評価



もうひと踏ん張り

(3.3点)

挑戦2 「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦

■ **ふくろい産業イノベーションセンターを設置**し、企業の技術課題の解決支援などを行ったほか、地元企業の魅力発信や人材確保の支援などを目的に**就職情報サイトを開設**した。

■ 海外輸出に関心がある市内の茶生産者の有志らと、日本茶の需要が期待される海外市場へサンプル品を送付しアンケート調査を行うなど、生産者などが**海外輸出に向けた検討を行うための簡易マーケティング調査を実施**した。

■ 市の**ガイドブックや特産品をモチーフにした創作絵本を作成**し、シティプロモーションの充実・強化を図った。

評価



いい調子です

(3.7点)

挑戦3 「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦

■ 人生100年時代の地域経営のあり方に関する調査研究で、地域・事業者や庁内関係課が参加する**「官民共創ワーキンググループ」を設置**し、共創の考え方などを学び合い、試行実証の企画を行った。

■ 地域が主体となり、市内のタクシー事業者と市が協力し**「地域タクシー」の試験運行を実施**した。

■ 情報紙**「共生のトビラ」の創刊**など共生社会の推進に向けた取組を充実させたほか、**東京2020オリンピックのホストタウン**として、異文化理解を深める取組を行った。

評価



もうひと踏ん張り

(3.0点)

よくなりました
(5~4.5点)



いい調子です
(4.4~3.5点)



もうひと踏ん張り
(3.4~2.5点)



もっとがんばろう
(2.4~0点)



3 創生会議の意見

■ コロナ禍により暮らし方や価値観が大きく変わった。例えば、キャッシュレス。**コロナ前は3割程度だったキャッシュレス決裁の利用者が二人に一人まで増加。**手数料負担は増えるが、現金のハンドリングコストは削減。

■ 国や県、市がコロナ禍の緊急経済対策を色々と講じているが、事業者側の感覚としては、**①色々あり過ぎて必要な情報がしっかり届いていない、②執行期間が年度末までと検討から実施まで十分な期間が確保できていない**と感じる。

■ **コロナ禍が終息することはない**ということを前提に、**仕事や暮らしを変化させていくことが必要。**

■ **デジタル田園都市国家構想に基づく取組は推進すべき。**例えば、公共交通にAIを導入し、バス停などに関係なくスマホで乗り降りできる仕組みづくりに着手するなど。

■ **人口減少を受け入れた下山経営を始めないといけないとき。**他方、安さや便利さに飛びついて失ったものも多いと感じる。**本当の質を感じる感性がいつの間にか乏しくなっているのではないかと懸念。**

■ 市は、これまで以上に**「繋ぐ」ことを強く意識した活動が求められている。**インキュベーション施設などもその一つ。**異なる分野の人たちがカジュアルに繋がり刺激し合う機会と場づくりに取り組むべき。**

■ クラウドサービスなどが普及した一方、**デジタル化が抱えるリスク面も今一度点検することが大事。**

■ **パンデミックの後だからこそ、袋井だからできることを大胆に打って出ていくことが必要。**

1 現状と課題

(1) 本市人口は87,983人 (R4.4.1現在) となり、コロナ禍での婚姻・出産控えなどにより出生数は、年間600人台 (前年比▲39人減) まで減少した。外国人の人口は、ほぼ横ばいで推移したが、日本人の転出超過 (R3▲150人→R4▲14人) は回復傾向にあるものの、2年連続で**自然・社会増減ともに減少する人口減少局面が続いている**。

なお、人口ビジョンで設定した目標人口に対しては、**目標推計人口を上回る水準を維持している**。

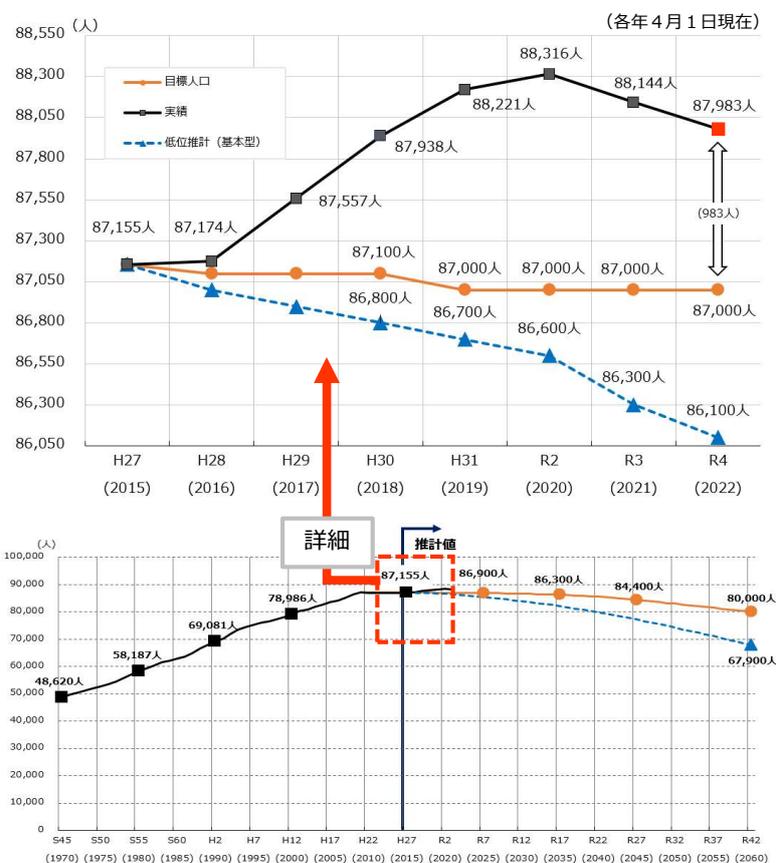
(2) 他方、新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル化の進展により、自然豊かなゆとりのある生活環境に魅力を感じる人やテレワークにより転職せず**に地方で働ける人が増加**するなど、社会の価値観やライフスタイルが変化したことで**地方暮らしへの関心が高まっていることに対し、迅速かつ適切に対応することが必要**。

(3) 合計特殊出生率や他市町との比較は、県の統計データが公表された後 (今秋公表予定) 改めて整理します。

2 人口推計

(1) 人口推移

人口は**減少** (前年比▲161人) したものの**目標人口を上回る水準を維持**



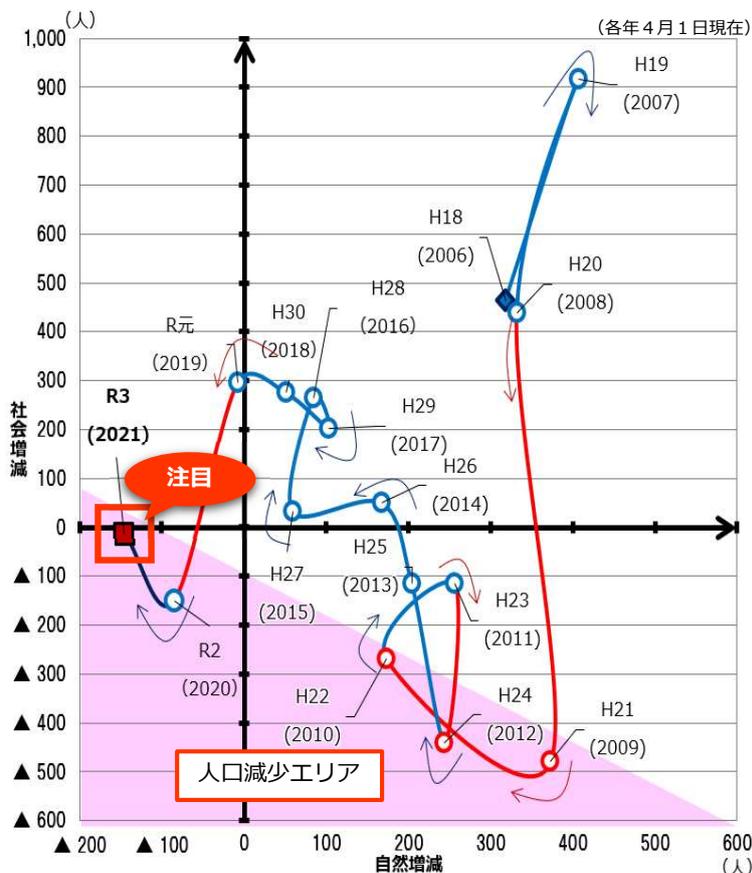
(2) 3区分別人口の推移

少子高齢化が**進行** (前年比年少人口▲2.3%、老年人口+2.0%)



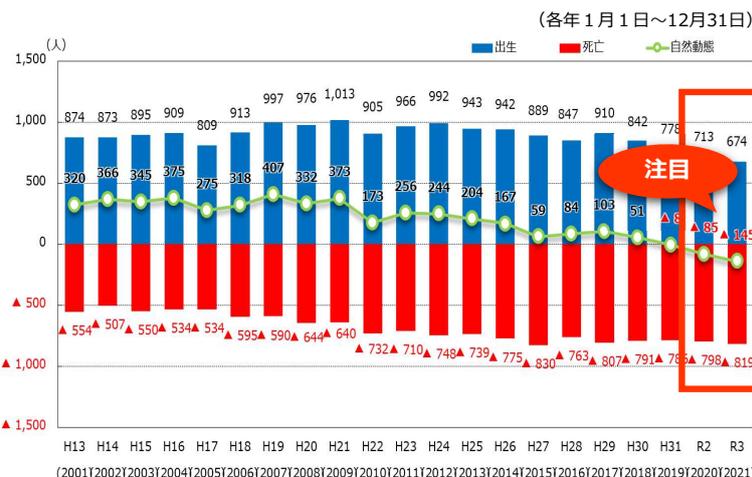
(3) 自然増減と社会増減

自然増減・社会増減ともに**マイナス** (前年比▲145人・▲14人) となり人口減少エリアに留まる



(4) 自然増減の推移

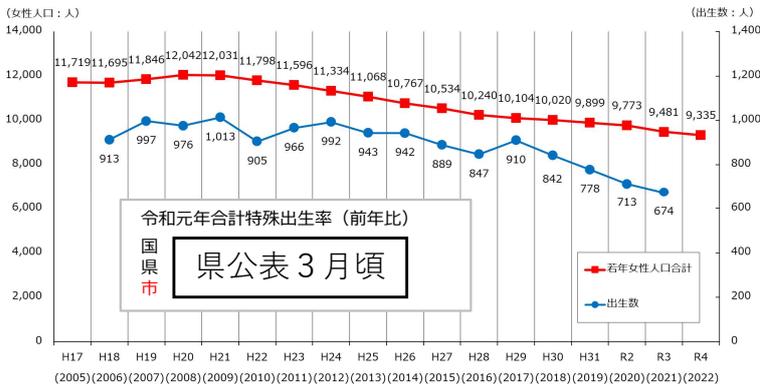
出生数が**600人台まで減少** (前年比▲39人) し、自然増減は引き続き**マイナス**



3 出生に関する状況

(1) 若年女性人口と出生数の推移

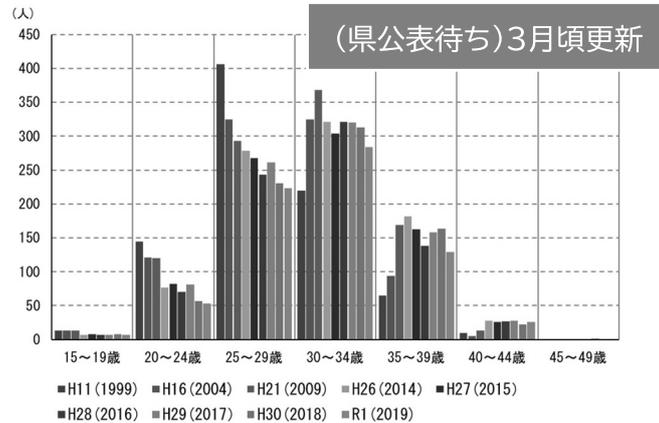
若年女性人口も減少が続く（前年比▲146人）



(2) 母親の5歳階級別出生数の推移

20歳代の出産が減少

30～34歳代の出産が最多、晩産傾向が依然強い

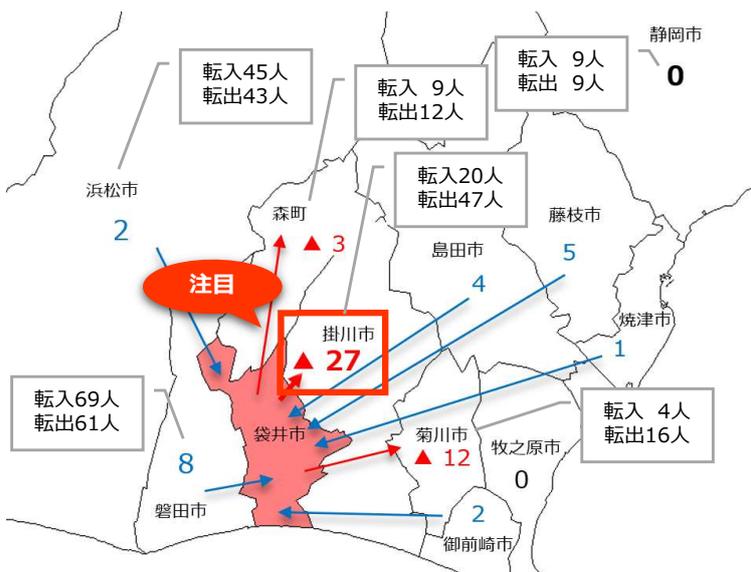


4 子育て世代の動向

(1) 子育て世帯（0～9歳）の転出入状況

子育て世帯の近隣市への転出超過が続く

(令和3年1月1日～12月31日)



(2) 5歳階級別増減人数

子育て世帯の転出超過が続く

(各年4月1日現在)

注目	H29	R4	増減
年少			
0～4歳	4,274	3,698	-
5～9歳	4,561	4,195	▲79
10～14歳	4,436	4,615	54
15～19歳	4,285	4,366	▲70
20～24歳	4,118	4,247	▲38
生			
25～29歳	5,023	4,640	522
30～34歳	6,042	5,154	131
産			
35～39歳	6,386	5,890	▲152
40～44歳	6,822	6,345	▲41
45～49歳	6,093	6,788	▲34
50～54歳	4,817	6,063	▲30
55～59歳	5,208	4,842	25
60～64歳	5,664	5,129	▲79

5 他市町との比較

(1) R4県人口推計とR2国勢調査の比較

全市町で人口が減少 ※県内35市町で最も減少率が低い

減少数(人)		減少率(%)	
1	静岡市 ▲8,819	1	川根本町 ▲6.0
2	浜松市 ▲7,591	2	松崎町 ▲4.7
3	沼津市 ▲3,484	3	西伊豆町 ▲4.1
4	富士市 ▲2,428	4	南伊豆町 ▲3.6
5	御殿場市 ▲2,100	5	河津町 ▲3.6
6	磐田市 ▲1,899	：	：
：	：	27	磐田市 ▲1.1
12	掛川市 ▲1,267	28	掛川市 ▲1.1
：	：	：	：
29	袋井市 ▲314	32	浜松市 ▲1.0
：	：	：	：
35	河津町 ▲245	35	袋井市 ▲0.4

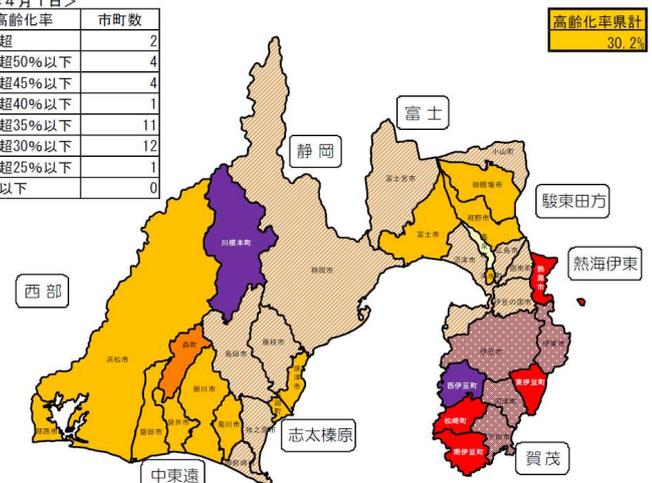
(2) 県内高齢化率調査

県の高齢化率は過去最高の30.2%

※袋井市=25.0%（県内23市で一番「若いまち」）

<令和4年4月1日>

高齢化率	市町数
50%超	2
45%超50%以下	4
40%超45%以下	4
35%超40%以下	1
30%超35%以下	11
25%超30%以下	12
20%超25%以下	1
20%以下	0



(3つの挑戦)

(戦略の柱と施策の方向性)

(挑戦1)
「ふくろい人」
ひとづくりへの挑戦

次代の袋井を支えるために学び、挑戦する人材を地域ぐるみで育て、呼び込む環境づくりに挑む

1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(挑戦2)
「しっかり稼ぐ」
しごとづくりへの挑戦

新技術や地域資源の活用により生産性の向上と生活の豊かさを両立する「ふくろい」ならではの暮らしの実現に挑む

2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。

2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(挑戦3)
「支え合い」
誰もが活躍する
まちづくりへの挑戦

人生100年時代に全ての世代、外国人市民、誰もが元気に役割をもって活躍できる社会・地域の仕組みづくりに挑む

3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組や環境整備を進める。

(主な取組)

(SDGs)

- 「確かな学力」向上プロジェクト (GIGAスクール構想、幼小中一貫教育ほか)
- 地域とともにある学校づくりプロジェクト
(コミュニティ・スクール推進事業、地域住民による放課後学習支援ほか)



- 高校魅力化プロジェクト(探究的な学び、職業教育の高度化ほか)
- 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト
(新たな学科開設支援、デジタル人材等の育成ほか)



- ふくろい「やらまいか」プロジェクト
(アイデア創出支援、リカレント教育、創業・事業承継ほか)
- 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト
(大会誘致、大会出場奨励制度、総合型地域スポーツクラブとの連携ほか)



- 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト
(産業イノベーションセンター設置、魅力ある個店づくりほか)
- 近未来技術等の社会実装プロジェクト
(エコパドリームプロジェクト、スマート自治体、スマートライフ推進ほか)



- 農業の未来を創るプロジェクト
(スマート農業の推進、担い手育成、地産地消の推進ほか)
- 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト
(販路開拓支援、付加価値向上支援、多様な販売モデルの推進ほか)



- 観光ビジネス創出プロジェクト
(新たな商品(観光ツアー)開発、スポーツイベントの開催支援ほか)
- ふくろいファンづくりプロジェクト
(SNSを活かした情報発信、ふるさと納税促進ほか)



- 生涯活躍のまちづくりプロジェクト
(人生100年時代の地域経営のあり方(仮称)の研究、健康経営の推進、高齢者の多様なニーズに応じた就労機会確保ほか)



- 支え合い・つながり創出プロジェクト
(まちづくり協議会の活動支援、NPOや市民活動団体の活動・連携支援、ICTを活用したコミュニティ形成の支援ほか)



- 「共創社会」加速化プロジェクト
(外国人市民への支援、男女共同参画社会の推進、子育てと仕事の両立支援障がい者への理解と地域の交流の支援ほか)



1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

(1) 「確かな学力」向上プロジェクト

「袋井型」授業づくりの推進の一つの手立てとして、学習ソフト「navima」を実証的に導入し、個に応じた学びと協働的な学びの更なる推進を図るとともに、1人1台配備したタブレットについて家庭への持ち帰りを実施して授業と家庭学習の連動を進めるなど、ICT機器を活用した教育の推進に努めた。今後の課題は、**ICT機器を効果的に活用した学びの更なる充実**であり、学習アプリや授業支援アプリの効果検証・評価の仕組みづくりを行い、教育現場でのICTを活用した深い学びや考える力の向上につなげる。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

★ 未来の教育実証研究 [学校教育課]

市内4小学校で、学習支援ソフトを活用した新しい学習モデルの実証研究を実施
運用ルール、教育研修の内容、援員の業務などにおける改善点を検討
・学力に応じた学習問題が出される学習ソフト「デジタルドリル教材navima」
・思考ツールを活用できる学習ソフト「ロイロノート」

★ 小中学校英語力向上 [学校教育課]

イングリッシュ・デイキャンプ：小3・4年生コース（2h/回、開催日7/28～30、参加者77人）
小5・6年生コース（2.5h/回、開催日7/28～30、参加者56人）
中学生コース（1h/回、開催日8/4、参加者20人）
チャレンジコース（1h/回、開催日8/5、28人）
英検チャレンジ：開催日10/2、市内4会場
受検者596人（小学生144人、中学生452人）
合格者414人（小学生101人、中学生313人）
外国人指導助手派遣：市内小中学校にALTを配置

◆ スマートスクール推進 [学校教育課]

小学校ICT支援員配置：市内12小学校、年間863回訪問
中学校ICT支援員配置：市内4中学校、年間287回訪問



タブレット学習



イングリッシュ・デイキャンプ

(2) 地域とともにある学校づくりプロジェクト

市内店舗の協力を仰ぎ、小学生を対象にした「小学生のお仕事体験」を開催したほか、小学校でのアースキッズ事業の開催、地域のコミュニティセンター学級や放課後児童クラブでの出前ECO教室の開催など、環境教育の充実を図った。今後の課題は、**学校と地域の更なる連携強化や取組の充実**であり、地域学校協働活動コーディネーターや地域学校協働本部の運営面の強化など、地域とともにある学校づくりを推進していく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ 小学生のお仕事体験 [産業政策課]

お店でのお仕事体験：開催日1/8、開催店舗6店舗、参加者17人
ポスター制作、展示：発表会2/19(オンライン開催)
展示期間1/31～3/4
月見の里学遊館、教育会館、メロープラザで展示

★ 青少年リーダー・指導者養成 [生涯学習課]

次世代リーダー育成塾「同窓会」：開催日1/16、参加者8人
青少年指導者交流会：開催日2/2、参加者21人

★ 環境教育の推進 [環境政策課]

アースキッズ事業：市内小学校6校、小学4・5年生425人
出前ECO教室：市内小学校（実施13回、参加者983人）
市民団体（実施23回、参加者785人）
エコパを活用した環境教育：小学校（12校、参加者844人）、中学校（1校、参加者15人）

★ ブックスタート、セカンドブック [生涯学習課]

ブックスタート（7か月児相談時）：実施24回、配付数621冊
セカンドブック（2歳児相談時）：実施24回、配付数678冊



アースキッズ事業



ブックスタート

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合 (小6:国語・算数、中3:国語・数学) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	50.0	75.0	75.0	100.0	100.0	
		50.0 (R1)	中止	0				
英語検定3級相当以上の資格を有する生徒の割合 (中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	23.0	27.0	31.0	35.0	40.0	
		18.5 (R1)	25.3	23.9				
「授業がよく分かる」と答える児童・生徒の割合 (小5~中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	87.0	89.0	91.0	93.0	93.0	
		85.0 (R1)	87.6	86.0				
「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合 (小6・中3) [↑] 【出典:総合計画、学校教育課】	%	目標値	90.0	80.0	81.0	82.0	83.0	
		78.4 (R1)	78.3	74.1				
「地域の行事に参加している」と答える児童・生徒の割合 (小6・中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値	88.0	90.0	92.0	94.0	95.0	
		86.0 (R1)	72.7	76.6				
家庭教育学級・少年学級・地域青少年育成団体の参加者数 [↑] 【出典:生涯学習課】	人	目標値	900	900	950	950	1,000	
		900 (R2推計)	842	960				
親スキルアップ講座の参加者の満足度 [↑] 【出典:総合計画、すこやか子ども課】	%	目標値	91.5	93.0	94.5	96.0	97.0	
		90.0 (R1)	99.1	99.1				
歴史資料館(郷土資料館・歴史文化館・近藤記念館)の利用者数 [↑] 【出典:総合計画、生涯学習課】	人	目標値	17,800	17,400	17,600	17,800	18,000	
		17,000 (R1推計)	20,315	17,827				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1	達成度	総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
いい調子です		目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
もうひと踏ん張り		70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

総合評価

3.0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

未来の創り手づくり

子どもたちの創造力や問題解決能力などを伸ばそうと、市内の有志が、デジタル版ブロック遊びの「マイクラフト」を活用したプレゼン大会を開催しました。

「マイクラフトで作ろう!ぼく、わたしの町の過去・現在・未来」をテーマに、地域や社会の課題解決のアイデアを盛り込んだ作品を募集。地元のことをしっかりと調べ、地域の特色やまちの未来をイメージさせる素晴らしい作品がたくさん寄せられました。

マイクラ 子どもプレゼン大会

MINECRAFT

PRESENTATION CUP

第3回中東通大会 2月6日(日) 15時配信

子どもたちの創造力、問題解決能力、コミュニケーション能力を伸ばします。

オンライン配信 審査員	マイクラフト プレゼン大会実行委員会	参加費 1,350円 兄弟参加費別 1050円
 吉川 牧人 <small>minecraft マイクソフト認定 審査インベーター</small>	 豊松 蒼汰 <small>*スポーツチーム Quintette 代表</small>	 主催 足立 美和 ReaLabo
 配信 竹原 真紀 FilmPresso		【作品応募締切】 2022年1月16日(日) 【HP掲載&入選発表】 1月20日~30日 【オンライン審査発表】 2月6日(日)15時

協力 ReaLabo ㈱カワイ マナカル菊田見付校 FilmPresso PAN de NIQ

1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

(1) 高校魅力化プロジェクト

市内高校や特別支援学校と連携し、産業や社会のあり方が変化していく中でも活躍できる人材を地域ぐるみで育成するとともに、誰もが活躍できるまちづくりの実現を目指すため、地方創生に向けた連携協定を締結したほか、高校生の実態調査や地域学習の支援を行った。今後の課題は、**地域や社会が求める人材を育成する魅力ある学校づくり**であり、地域ぐるみでの支援体制の構築に向け、関係者と連携し取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

- ・市内高等学校、特別支援学校と連携協定締結 [総合戦略課]
袋井商業高校、袋井高校、袋井特別支援学校と地方創生に向けた連携協定を12/23締結
- ・袋井商業高校、袋井高校との連携事業 [総合戦略課]
袋井商業高校：高校生アンケート2021<<暮らし・働き方編>>（全生徒395人対象）
袋井高校：総合的な探究の時間（自ら地域のことを調べ、課題と解決策を探る取組）
・講演会（開催日6/17、講師：総合戦略課、ふくろい産業イノベーション近藤氏）
・フィールドワーク（開催日12/3、出席：環境政策課・地域包括ケア推進課・危機管理課・協働まちづくり課・すこやか子ども課・企画政策課・総合戦略課）
- ★青少年リーダー養成 [生涯学習課]
高校生リーダー講座：全3回（12/18、3/5、3/13）、参加者33人（高校生）
- ・高校生と企業を結ぶ合同企業説明会 [産業政策課]
開催日3/18、参加企業57社、参加者（高校生）164人



袋井高校フィールドワーク



高校生リーダー講座

(2) 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト

産業や地域を担う人材の育成に向け、静岡理工科大学や静岡文化芸術大学と連携し、各種講座やワークショップなどを開催した。また、就職フェアやインターンシップフェアをオンラインで開催し、地元への就職を希望する学生の就職支援や企業の人材確保などの支援に取り組んだ。今後の課題は、**市民、企業、大学、行政のつながりの強化**であり、市と大学との連携強化や学生と地元企業との交流機会の創出に努めていく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

- ★静岡理工科大学との連携事業 [企画政策課、生涯学習課]
地域学講座：「お茶の振興」（大規模化、高級・ブランド化、6次産業化、海外輸出）
開催日8/5、8/6、8/17、8/26
参加者30人（大学生24人、生産者4人、農政課職員2人）
学術交流振興基金活用事業：企業と大学の共同研究開発、市民体験入学、コミセンDEお理工塾（ほかもじ・もじ・じっけんワークショップ：開催日7/10、11/13）
参加者25人（小学校3～4年生）
- ★静岡文化芸術大学連携 [生涯学習課]
絵本ワークショップ：開催日：8/16、8/17
参加者23人（小学校4～6年生）
- ・いわた・ふくろいインターンシップフェア [産業政策課]
開催日5/29、参加企業14社、参加者28人（R5.3卒業予定の大学、短大、専門学校生等）
- ・いわた・ふくろい就職フェア [産業政策課]
開催日2/25、参加企業50社、参加者99人（R4.3、R5.3卒業予定の大学、短大、専門学校生等）



地域学講座



もじ・もじ・じっけんワークショップ

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」及び「いわた・ふくろい就職フェア」への市内参加企業数 [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	社	目標値	31	32	34	36	38	
		31 (H30)	23	32				
市内高校及び大学の就業率 [↑] 【出典：産業政策課】	%	目標値	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	
		97.8 (H26-30 平均)	98.7	98.0				
理工科大学との協働活動の実施件数（累計） [↑] 【出典：企画政策課】	件	目標値	5	7	9	12	15	
		3 (H30)	7	11				
市民を対象にした学習機会数 [理工科大学主催] [↑] 【出典：生涯学習課】	回	目標値	38	38	39	39	40	
		37 (R1)	14	25				
高校生と協働した事業・イベント数（累計） [↑] 【出典：総合戦略課】	回	目標値	2	4	6	8	10	
		4 (R1)	4	8				
地域防災への高校生の参加者数 [↑] 【出典：危機管理課】	人	目標値	1,900	1,950	2,000	2,050	2,100	-
		1,902 (R1)	0 ※役員のみ	未実施				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1	総合評価※2	
よくできました		目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
いい調子です		目標値未滿～70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
もうひと踏ん張り		70未滿～基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未滿	1点	2.4 ~ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

4.2点

TOPICS

市内高等学校・特別支援学校と連携協定締結

市内高等学校・特別支援学校と地方創生に向けた連携協定を締結しました。（令和3年12月23日締結）

袋井商業高校・袋井高校・袋井特別支援学校と連携し、産業、社会のあり方が変化していく中でも活躍できる人材を地域ぐるみで育成するとともに、誰もが活躍できるまちづくりの実現を目指していきます。

《協定事項》

- ・社会教育及び学校教育の充実や人材育成に関すること
- ・まちづくりの推進に関すること
- ・地域産業の振興及び新産業の創出に関すること
- ・スポーツ・文化・芸術に関すること

など



1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(1) ふくろい「やらまいか」プロジェクト

新たなビジネスや市民活動などに取り組む意欲や能力を有する人たちの「想いをカタチに」するための支援として、創業希望者などへの各種セミナーの開催をはじめ、創業を目指す人が気軽に挑戦できる場「チャレンジショップ」を開設した。今後の課題は、コロナ禍での創業意欲の醸成と多様な主体による継続的な支援であり、引き続き社会・経済情勢の変化に適切に対応した支援を実施していく。

主な取組

◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ 創業支援の推進 [産業政策課]

創業相談会 : 開催期間6月～3月(全10回)、参加者12人
 創業セミナー : 開催日9/4、3/5、参加者21人
 経営セミナー : 開催日6/27、7/3、11/10、11/24、参加者18人
 創業塾 : 開催時期10月～12月(全6回)、参加者7人

・ チャレンジショップ事業 [産業政策課]

チャレンジショップ概要 : ショッピングセンターパティオ1階
 小売業・サービス業が対象
 出店可能期間は最長1年
 出店者の概要 : ハイカラ屋(古着物等販売、買取、レンタルなど)
 出店期間10/20～翌8/31

・ 市民活動団体やNPO法人等の活動支援 [協働まちづくり課]

NPO等の提案事業の協働実施 : 補助事業・連携事業として7事業実施
 NPO法人化への支援 : 情報提供や認証申請等を支援
 「ふらっと」の管理運営 : 活動情報発信、活動団体のマッチングなどの相談対応など



創業(経営)セミナー



チャレンジショップ

(2) 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト

東京2020オリンピック・パラリンピックにおいては、聖火リレーの実施やアイルランドオリンピックチームの受入に加え、関連イベントを実施し、地域の賑わい創出に取り組んだ。また、市民の文化芸術への関心を高めるため、市にゆかりのある世界的オペラ歌手「三浦環」を顕彰する公演を開催した。今後の課題は、ビッグイベントなどで培った経験をレガシーとしていかに継承していけるかであり、スポーツイベント等への市民参画の促進や交流人口の拡大を図っていく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ アイルランドオリンピックチーム事前キャンプ運営支援 [スポーツ政策課]

事前キャンプ受入れ(葛城北の丸ほか) : 期間7/5～8/3、人数129人
 空港や選手村等への送迎など

・ 東京2020大会レガシーの創出 [スポーツ政策課]

FUKUROI SPORTS DAY 2021 : 開催日11/13、参加者403人、9種目(アーバンスポーツなど)

◆ 袋井クラウンメロンマラソン大会 [スポーツ政策課]

リモートマラソンの部 : 開催期間10/17～10/30、参加者566人
 実走形式の部 : 開催日12/12、参加者1,900人(県内在住者限定)

◆ ラグビーレガシーの創出 [スポーツ政策課]

小学生対象ラグビー教室 : 開催期間12/2～2/17(全5回)、参加者23人
 静岡ブルーレヴズ試合共催(解説付き) : 開催日12/25、観客動員数2,233人、エコパスタジアム

★ 三浦環関連事業 [生涯学習課]

SPAC公演及びコンサート : 公演日12/11、来場者131人、メロープラザ
 パネル展示 : 期間12/3～13



アイルランドチーム事前キャンプ



三浦環SPAC公演

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
協働まちづくりセンターの登録団体数（市民活動団体）〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	
		53 (H30)	43	44				
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	10	8	9	10	11	
		11 (H30)	1	8				
協働まちづくり事業の提案件数（累計）〔↑〕 【出典：協働まちづくり課】	件	目標値	27	37	47	56	65	
		17 (R1)	23	30				
全国スポーツ大会の出場者数（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、スポーツ政策課】	件	目標値	62	126	192	260	330	
		59 (R1)	18	44				
市内の運動施設の利用者数（エコパを除く）〔↑〕 【出典：総合計画、スポーツ政策課】	人	目標値	750,000	605,000	610,000	615,000	620,000	
		551,962 (R1)	487,943	583,346				
図書館の個人貸出利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、生涯学習課】	人	目標値	150,000	140,000	141,500	143,000	144,500	
		136,631 (H30)	138,965	150,172				
月見の里学遊館（水玉プール除く）とメロープラザの利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、生涯学習課】	人	目標値	200,000	128,800	144,800	161,400	161,900	
		157,744 (H30)	59,935	89,178				
全国文化芸術大会出場者数（累計）〔↑〕 【出典：生涯学習課】	人	目標値	10	15	20	25	30	
		4 (R1)	5	8				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		目標値以上	5点	5～4.5点
よくできました		目標値以上	5点	5～4.5点
いい調子です		目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点
もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点	3.4～2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4～0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価



2.7点

TOPICS

創業を目指す挑戦者を後押し

小売業やサービス業などの創業希望者が、期間限定で気軽にお試しで出店できるスペース「ふくろいチャレンジショップ」を、山梨地区の商業施設「パティオ」内に開設しました。

出店者には、専任の経営コンサルタントが伴走しながらサポートを実施したほか、家賃を無料にするなど、創業を目指す挑戦者を後押ししました。

期間限定で気軽にお試し出店できる
ふくろいチャレンジショップ 開設



2024.10.20@ショッピングセンターパティオ
 創業を目指す挑戦者を専門家（経営コンサルタント）がしっかりと伴走しながらサポートする「ふくろいチャレンジショップ」が市内ショッピングセンター内に開設しました。

2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官金連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。

(1) 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト

ふくろい産業イノベーションセンターを設置し、企業への個別訪問による技術課題の解決支援などを行ったほか、地元企業の魅力発信や人材確保の支援などを目的に就職情報サイトを開設した。今後の課題は、デジタル化や脱炭素社会の到来など、**社会潮流の変化への対応と中小企業の成長をいかに結びつけることができるか**であり、課題解決の支援やイノベーション喚起に向け、産学官金が連携し伴走型の企業支援に取り組んでいく。

主な取組

◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ふくろい産業イノベーションセンター設置 [産業政策課]

企業データベース構築 : 登録企業147社
 大学教員の研究データ見える化 : リサーチマップへの教員登録69人
 センター開設記念セミナー : 開催日6/23、参加者96人 など

◆就職情報サイト整備 [産業政策課]

ふくろいdeあつまろう : 公開日1/27、掲載企業19社、アクセス件数4,248件

◆経営力強化推進アドバイザー設置 [産業政策課]

実施期間10月~12月、相談者102人

◆個店魅力アップ事業 [産業政策課]

デジタルスタンプラリー : 実施期間11~1月、参加店舗91店舗、参加者1,006人

◆創業支援の推進 [産業政策課] 【再掲】

創業相談会 : 開催期間6月~3月(全10回)、参加者12人
 創業セミナー : 開催日9/4、3/5、参加者21人
 経営セミナー : 開催日6/27、7/3、11/10、11/24、参加者18人
 創業塾 : 開催時期10月~12月(全6回)、参加者7人

◆地域経済循環分析 [総合戦略課]

勉強会の開催 : 開催日11/9、参加者70人(市幹部職員・市議会議員・商工団体・大学等)



産業イノベーションセンター開設記念セミナー



ふくろいdeあつまろう

(2) 近未来技術等の社会実装プロジェクト

LPWA(無線通信技術)を活用した小規模河川などの水位監視のほか、人感センサーや温湿度センサーの活用など、新たな技術を組み入れた課題解決へのアプローチを試行した。今後の課題は、**急速に進展する革新的技術をいかに地域課題解決に活用していけるか**であり、引き続き関係企業や各種団体と連携し、新たな技術を組み入れたサービスの社会実装に向けた取組を実施・支援していく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

★LPWA通信を活用した実証事業 [ICT政策課]

水位センサー : 道路冠水8箇所、小規模河川1箇所
 人感センサー : 袋井市役所打合せスペース利用状況の可視化

★スマートシティの推進 [ICT政策課]

オープンデータ利活用 : 自動生成システム構築(10月~3月)、公開件数延べ876件
 EBPM推進 : 勉強会開催1/13、1/27、2/10、3/11、参加者28人

・スマートライフの推進 [環境政策課]

新エネルギー機器導入促進奨励金 : 交付件数369件 など



道路冠水監視センサー



打合せスペース利用状況可視化

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業政策課】	億円	目標値	5,880	5,960	6,040	6,130	6,200	
		5,880 (H29)	6,061 (R1)	公表 12月				
企業立地件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	2	4	6	8	10	
		1 (H30)	1	3				
静岡理工科大学と市内企業の共同研究件数（累計） 〔↑〕【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	5	10	15	20	25	
		5 (H30)	1	8				
経営革新計画の承認件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	7	14	21	28	35	
		2 (H30)	13	18				
市、商工団体、金融機関の支援による創業件数（累計） 〔↑〕【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	45	90	135	180	225	
		41 (H30)	47	85				
よろず支援拠点への相談件数（袋井市）（累計） 〔↑〕【出典：産業政策課】	件	目標値	154	308	462	616	770	
		154 (H30)	236	415				
卸売業・小売業及び宿泊業・飲食サービス業の売上 （収入）金額〔↑〕【出典：産業政策課】	億円	目標値	2,400	2,400	2,500	2,500	2,500	
		2,397 (H28)	2,397	2,397				
満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 〔↑〕【出典：市民意識調査】	%	目標値	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	
		26.8 (H30)	36.3	42.8				
近未来技術等を活用した実証事業数（累計）〔↑〕 【出典：企画政策課、ICT政策課、総合戦略課】	件	目標値	7	9	11	13	15	
		5 (R1)	4	8				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		よくできました	目標値以上	5点
いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4～3.5点	
もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4～2.5点	
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4～0点	

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

4.2点

TOPICS

「稼ぐチカラ」のある中小企業を育成

令和3年4月、市と静岡理工科大学、商工団体、金融機関が連携し、同大学キャンパス内に「ふくろい産業イノベーションセンター」を開設しました。

市や商工団体、金融機関等の職員がコーディネーターとなり、市内企業を個別訪問し、企業の技術課題の解決支援や大学のノウハウを活用した研究開発の推進など、時代の変化に適応した「稼ぐチカラ」のある企業の育成を目指します。



2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

(1) 農業の未来を創るプロジェクト

農業の担い手を育成するため、マーケティングや商品開発のほか、SNSでの情報発信やECサイトの活用法などの知識や技術を習得する「ふくろい農業未来塾」を開催した。また、JAなどと連携し、コロナ禍の影響を受けた農業者の支援やアフターコロナを見据えた販路拡大に取り組んだ。今後の課題は、**農業者の経営力強化や担い手の確保をはじめ、生産性の向上等**であり、引き続き県やJAなどと連携し、地域農業の発展に向け取り組んでいく。

主な取組

◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ 担い手育成支援 [農政課]

ふくろい農業未来塾 : 開催期間1~3月、全5回、参加者延べ116人
 担い手農家等機械整備事業 : 交付件数27件
 農業次世代人材投資資金交付事業※ : 交付件数6件

◆ 袋井ふるさと農産物応援便 [農政課]

実施時期6月、発送件数1,000件

・ 耕作放棄地の解消 [農政課]

荒廃農地再生・集積推進事業費補助金 : 浅羽南地区50a解消

・ 学校給食への地場産品活用促進 [おいしい給食課]

地産地消率 : 目標値33.0%、実績値44.7%
 収穫体験 : 実施12件、小学校7校、玉ねぎ・チンゲンサイ・さつまいも・ブロッコリーなど

※新型コロナ臨時交付金対象外



ふくろい農業未来塾



さつまいも収穫体験

(2) 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト

海外輸出に関心がある市内の茶生産者の有志らと、日本茶の需要が期待される海外市場へサンプル品を送付しアンケート調査を行うなど、生産者などが海外輸出に向けた検討を行うための簡易マーケティング調査を実施した。今後の課題は、**市場ニーズに合った商品の提供や生産・流通体制の構築**であり、ブランド力や競争力のある商品開発をはじめ、自走できる生産・流通システムの構築に向け、必要な支援に取り組んでいく。

主な取組

◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆ 付加価値向上支援 [農政課]

茶業支援対策事業費補助金 : 交付件数33件
 クラウンメロン振興協議会補助金
 袋井茶振興協議会補助金
 ふくろいブランド米開発販売促進協議会補助金

◆ 6次産業化の促進 [農政課]

6次産業化促進支援事業費補助金 : 交付件数9件

・ 主要農産物(温室メロン・茶・米)の振興 [農政課、企画政策課]

- ・ 温室メロン : 愛野駅南口に生産100周年記念モニュメントを建設
 アメリカでの市場調査・商談 など
- ・ 茶 : ふくろい茶「しっかり稼ぐ」NAEDOKOづくり実証事業(海外輸出創出)
 茶業支援対策事業費補助金(交付件数33件) など
- ・ 米 : 経営所得安定対策等の実施による農家所得の向上 など



クラウンメロン生産100周年モニュメント



NAEDOKOづくり(フィラントピアリング)

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
主要農産物産出額 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	
		72.8 (H30)	66.0	70.7				
利用権設定面積 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	ha	目標値	1,100	1,063	1,088	1,113	1,138	
		978 (H30)	1,119	1,103				
農業法人数 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	法人	目標値	40	39	40	41	42	
		37 (H30)	36	37				
耕地面積 [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	
		3,300 (H29)	3,200	3,170				
新規就農者数(累計) [↑] 【出典：農政課】	人	目標値	12	24	36	48	60	
		12 (H29)	12	21				
耕作放棄地の解消面積(累計) [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値	12	24	36	48	60	
		11.2 (H30)	4	34				
お茶の出荷量(袋井地区農協共販実績)(累計) [↑] 【出典：農政課】	t	目標値	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	
		1,008 (H30)	1,043	2,030				
お茶の年間平均単価(袋井地区農協共販実績) [↑] 【出典：農政課】	円	目標値	660	660	660	660	660	
		657 (R1)	630	767				
お茶の海外輸出货量(累計) [↑] 【出典：農政課】	t	目標値	6	12	18	24	30	
		6 (H30)	1.8	2.0				
クラウンメロンの市場出荷箱数(1箱6個入)(累 計) [↑] 【出典：農政課】	箱	目標値	277,800	555,600	833,400	1,111,200	1,389,000	
		277,831 (H30)	309,199	602,653				
クラウンメロンの年間平均出荷額(箱単価) [↑] 【出典：農政課】	円	目標値	11,250	11,500	11,750	12,000	12,000	
		11,026 (H30)	10,668	12,029				
クラウンメロン加工品取扱企業数 [↑] 【出典：農政課】	社	目標値	53	53	53	53	53	
		53 (H30)	45	53				
学校給食における市内産野菜の使用率(重量ベ ース) [↑] 【出典：総合計画、おいしい給食課】	%	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	
		34.2 (H30)	33.1	44.7				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		よくできました	目標値以上	5点
いい調子です	目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点	
もうひと踏ん張り	70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点	
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ~ 0点	

総合評価

3.8点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

「にっぽんの宝物」で準グランプリ受賞

市内の茶生産者である安間製茶(豊沢)の「白葉茶つきしろ」が、「にっぽんの宝物JAPANグランプリ(全国大会)」の最強素材部門で準グランプリを獲得しました。にっぽんの宝物グランプリは、日本各地の優れた商品を選び出し、世界に発信していきと毎年行われているものです。



2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(1) 観光ビジネス創出プロジェクト

袋井駅周辺や観光資源のライトアップに加え、市内飲食店の独自クーポンをまとめた「夜宵パスポート」を発行し、誘客や観光消費の拡大を図った。また、水辺の夕暮れマルシェなど、公園や河川をはじめとする公共空間を活用した賑わい創出に取り組んだ。今後の課題は、**域内の消費拡大に向けた地域資源の有効活用と連携強化**であり、多様な主体と連携し、互いにアイデアやスキルを持ち寄り、ふくろいならではの賑わいづくりに取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

◆夜の賑わいづくり創出 [産業政策課]

飲食店等冊子作成：実施期間9～11月
 袋井駅周辺ライトアップ：実施期間12/4～1/31
 観光施設ライトアップ（法多山、可睡齋）：実施期間11/20～12/12
 ふくろい夜宵パスポート：実施期間1/1～2/28 など

◆ふくろい観光ルネッサンス [産業政策課]

遠州三山風鈴まつり：実施期間5～8月
 遠州三山紅葉巡り：チラシ作成（11月）
 可睡齋ひなまつり・まちじゅうひなまつりプロジェクト：実施期間1～3月

★公共空間を活用した賑わい創出 [維持管理課、生涯学習課]

ミスベリング：水辺で乾杯（開催日7/7、参加者約30人）
 水辺の夕暮れマルシェ（開催日11/21、参加者250人）
 水辺のデザインワークショップ（開催日1/22、参加者45人）
 原野谷川deひなまつり（開催日2/5、参加者20人）
 水辺の公園de健康講座（開催日2/26、参加者27人）
 袋井幸浦の丘プロジェクト：地元住民向けニュースレター作成など
 青空図書館：開催日11/20、参加者約700人、高尾町公園
 ふくろい駅南フェスタ※：袋井駅南地区の遊水地や道路などを活用したまちなか周遊イベントの実施（開催日12/4）

※地方創生推進交付金対象外



袋井駅前ライトアップ



水辺の夕暮れマルシェ

(2) ふくろいファンづくりプロジェクト

ふるさと納税の申込サイトの充実・強化やSNSを活用した情報発信のほか、市のガイドブックや特産品をモチーフにした創作絵本を作成し、シティプロモーションの充実・強化を図った。また、姉妹・友好都市とは、WEBセミナーや特産品販売など、コロナ禍での交流促進に取り組んだ。今後の課題は、**地域づくりの担い手として期待される関係人口の創出・拡大**であり、多様な手段や機会を活用し新たな仲間づくりに取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金 ◆ = 新型コロナ臨時交付金

★ふるさと納税の推進 [企画政策課]

申込サイト：7サイト追加（伊勢丹、JALなど）
 新規返礼品：244品追加（アウトドア用品、ALAサプリメントなど）
 寄付実績：49,340件

◆地域資源プロモーション [企画政策課]

袋井市まるわかりブック：印刷製本（12月）
 クラウンメロンを題材とした創作絵本：「おうさまのメロンはどこへいった？」製本
 全国1,788自治体の公立図書館へ送付

★姉妹都市・友好都市交流 [秘書課]

岩沼市友好都市提携5周年記念WEBセミナー：おうち時間を楽しむ「ごちそうレトリート」の世界
 開催日11/20、参加者40人（WEBセミナー）
 交流都市別PRリーフレット作成、配布：すごろく型リーフレットを交流都市の小学生へ配布
 相互職員向け特産物販売（北杜市、塩尻市）：実施期間10月～2月
 しずおかキッズアカデミーwithやまなし※：ふるさとの魅力発見！地元のフルーツで親子スイーツ作りに挑戦！
 開催日8/21、参加者46人（WEBセミナー）

※地方創生推進交付金対象外



袋井市まるわかりブック



おうさまのメロンはどこへいった？

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
観光交流客数 [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	千人	目標値	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	
		4,753 (H30)	2,403	3,321				
観光案内所の来場者数 [↑] 【出典：産業政策課】	人	目標値	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	
		20,172 (H30)	5,551	6,381				
ホームページ等のアクセス数（観光関係） [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	件	目標値	800,000	363,000	413,000	463,000	513,000	
		583,522 (H30)	307,773	603,748				
市公式SNS「いいね」の数 [↑] 【出典：企画政策課】	件	目標値	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	
		35,459 (H30)	14,401	145,807				
全国地域ブランド調査における魅力度の順位 [↑] 【出典：企画政策課】	位	目標値	540	480	420	360	300	
		600 (H30)	550	648				
ふるさと納税件数 [↑] 【出典：企画政策課】	件	目標値	7,800	8,100	8,400	8,700	9,000	
		1,240 (H30)	34,365	49,340				
ふれあい夢市場の来場者数 [↑] 【出典：市民サービス課】	人	目標値	19,000	19,250	19,500	19,750	20,000	-
		18,000 (R1)	中止	中止				
公共空間（公園、河川、道路）を活用した販わい創出イベント数（累計） [↑] 【出典：維持管理課、都市計画課】	件	目標値	7	14	21	28	35	
		6 (R1)	7	16				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1	総合評価※2	
	よくできました	目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
	いい調子です	目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.2点

TOPICS

ふじのくにしずおか観光大賞受賞

袋井市観光協会が「ふじのくにしずおか観光大賞」を受賞しました。

平成30年度からスタートした「ふくろい夜宵（よるよい）プロジェクト」での遠州三山や袋井駅前のライトアップをはじめ、飲食店を応援する市内全域でのスタンプラリーなど、ゲーム性や回遊性のある参加型イベントの開催が評価されました。



3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

(1) 生涯活躍のまちづくりプロジェクト

人生100年時代の地域経営のあり方に関する調査研究では、地域・事業者や庁内関係課が参加する「官民共創ワーキンググループ」を設置し、共創の考え方などを学び合い、試行実証の企画を行った。また、市民の健康に対する意識や知識を高めるため、健康アプリの活用促進や地域での保健指導などに取り組んだ。今後の課題は、**官民共創における仕組みの整理と身近な事例づくり**であり、課題の共有を図りながら着実に取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

★ 人生100年時代の地域経営のあり方に関する調査研究 [総合戦略課]

官民共創ワーキンググループ：学校、スポーツ、観光などの分野の代表者20人ほどが参加
 官民共創ワーキング：開催日11/4、12/20、3/24
 交流会：開催日2/17
 共創アイデアの具体化検討、学校×花の試行実証企画など
 学校を起点・接点とした共創についての意見交換

★ 働く世代からの健康づくり [健康づくり課]

男の健康道場：開催日6/15、6/29、7/13、7/27、8/10、参加者17人
 こころと体の健康教室：開催日12/4、参加者27人
 健康度測定：開催期間5～3月（全11回）、参加者57人
 #2961ウオークの推進：登録者数5,195人
 新しい生活様式に関する付与ポイント増加キャンペーン（9～12月）

★ 健康リテラシーの向上 [健康づくり課]

ふくろい健康保健室：実施125回、延べ参加者1,867人
 おやこ保健室：実施29回、集団指導169人、個別指導140人
 みんなのよしみち保健室：7/1杏林堂薬局袋井下山梨店、12/18イオン袋井店、参加者142人
 出前健康教室：公会堂19回、参加者317人
 事業所等21回、参加人数410人
 地域活動サークル19回、参加人数122人

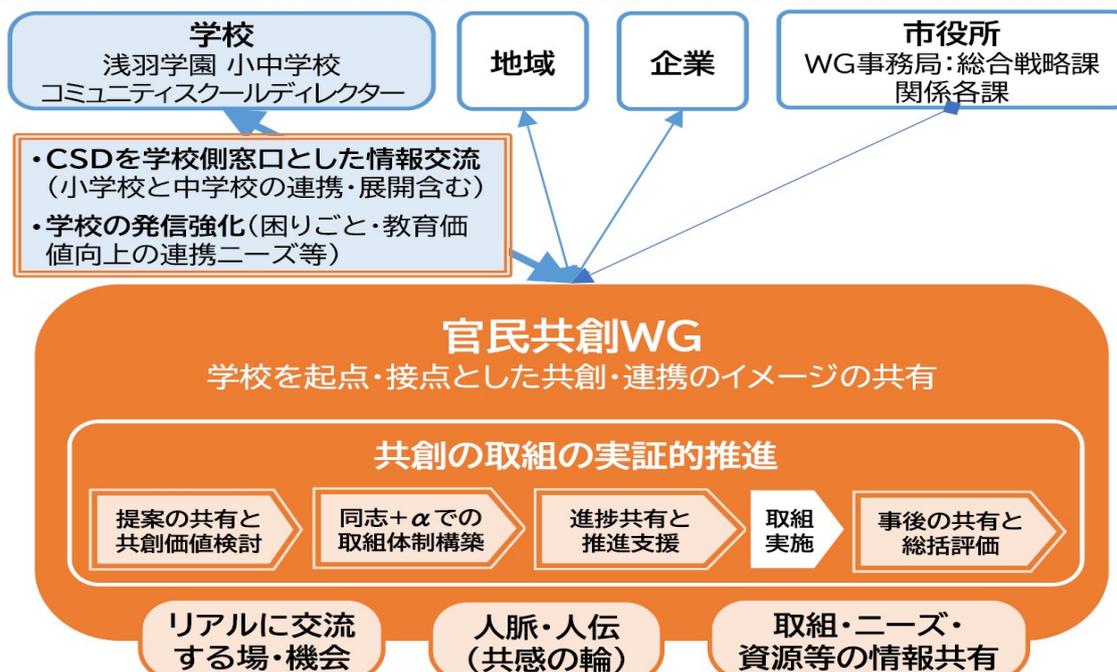


みんなのよしみち保健室



出前健康教室

官民共創WGから広げる、共創・連携のイメージ



繋がりのづくりの促進と、幅広い互恵の取組推進

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
お達者度(男性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	
		17.78 (H28)	18.77 (H30)	公表 9月				
お達者度(女性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	
		21.18 (H28)	21.54 (H30)	公表 9月				
(公社)袋井・森地域シルバー人材センターの就業 延人員 [↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	人	目標値	67,000	64,200	68,200	72,400	76,800	
		64,553 (H30)	55,916	56,337				
健康経営チャレンジ事業所数 [↑] 【出典：健康づくり課】	事業所	目標値	160	200	210	220	230	
		70 (H30)	135	134				
袋井市が住みやすいと感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	
		71.9 (H30)	71.4	72.9				

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点
いい調子です		目標値未満～70以上	4点
もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点
もっとがんばろう		基準値未満	1点

総合評価



2.3点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

官民共創ワーキングが始動

袋井ならではの豊かな暮らしを共に考え、共に創り出す「共創のまちづくり」の推進のため、新たな仕組みづくりに取り組む「官民共創ワーキング」が始動しました。

「豊かさの充実」と「支え合い」の2分野を視野に入れ、令和3年度は「花」をテーマに、学校を接点とした共創の取組を試行しました。本市における「共創のまちづくり」のプロトタイプ構築を目指し取り組んでいます。



3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

(1) 支え合い・つながり創出プロジェクト

地域が主体となり、市内タクシー事業者と市が協力し「地域タクシー」の試験運行を実施したほか、地域住民とコミュニティ活動についての情報共有を強化するため、市コミュニティセンターのLINE公式アカウントや地域版ホームページによる情報発信の有効性について検証した。今後の課題は、**公式アカウント登録者やホームページ利用者の増加**であり、引き続き行事やイベントなどで周知していく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

★特色ある地域づくりの推進 [協働まちづくり課]

特色ある地域づくり交付金の活用：まちづくり協議会7地区（袋井東、袋井西、三川、笠原、山名、高南、浅羽西）、計9事業

まちづくり協議会研修会：開催日7/2
 まちづくり協議会交流会：開催日2/5（一部オンライン方式）

★LINE公式アカウントを活用した情報発信の検証 [協働まちづくり課]

14地区、登録者数6,588人、情報発信数1,316件

運用研修会：開催日6/3
 運用アンケート実施：実施期間12月～1月

★地域版ホームページを活用した情報発信の検証 [協働まちづくり課]

運用研修会：開催日6/4
 運用アンケート実施：実施期間12月～1月

★新たな地域公共交通「地域タクシー」の試験運行 [協働まちづくり課]

袋井東地区、実施期間1～3月、利用登録者233人、運行日数31日、延べ利用者数173人



LINE公式アカウント



地域版ホームページ

まちづくり協議会名	活動の名称
袋井東地区まちづくり協議会	袋井東地区まちづくりを語る会
	久努の松並木愛護会
袋井西地区まちづくり協議会	袋井西地区まちづくり検討プロジェクト「彩雲プロジェクト」
三川まちづくり協議会	地域防災カステップアップ事業
笠原地区まちづくり協議会	地域ぐるみで取り組むごみの減量化対策事業
山名地区まちづくり協議会	山名地区 地域防災活動（水害避難マニュアル作成）事業
	山名地区 地域防災活動（災害弱者見守り隊組織化検討）事業
高南まちづくり協議会	高南地区居場所づくり事業「高南の居場所あえるもん」の活動
浅羽西まちづくり協議会	多様な担い手とのパートナーシップ事業

特色ある地域づくり交付金活用事業

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
地区まちづくり協議会が新たに取り組んだ特色ある地域づくり活動の数(累計) [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業	目標値	5	10	15	20	25	
		5 (R2推計)	10	19				
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数【再掲】 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	10	8	9	10	11	
		11 (H30)	1	8				
コミュニティセンターの利用者数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	人	目標値	410,000	412,000	413,000	414,000	415,000	
		384,128 (H30)	207,168	219,436				
通いの場の箇所数(週1回以上の活動) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課、地域包括ケア推進課】	箇所	目標値	70	75	80	85	90	
		70 (R2推計)	69	67				
総合健康センターでの総合相談件数 [↑] 【出典：総合計画、地域包括ケア推進課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	
		3,423 (H30)	5,317	5,689				
消防団員の充足率 [↑] 【出典：総合計画、危機管理課】	%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		85.61 (R1)	81.2	81.2				
見守りネットワーク実施箇所数(自治会数) [↑] 【出典：地域包括ケア推進課】	箇所	目標値	65	68	71	74	77	
		62 (R1推計)	69	69				
地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	
		50.6 (H30)	41.8	45.6				
仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	
		54.0 (H30)	42.0	43.9				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		よくできました	目標値以上	5点
いい調子です	目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点	
もうひと踏ん張り	70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点	
もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ~ 0点	

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

2.7点

TOPICS

コミュニティセンターが暮らしを支援

市内14のコミュニティセンターでは、地域での暮らしに役立つ情報やイベント案内、コミセン活動の紹介などの情報を、ホームページやLINEで発信。

また、スマホ講座のほか、ボディメイクや農業体験を行うなど、地域住民がより良い暮らしが送れるよう支援しています。



3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組を進める。

(1) 「共創社会」加速化プロジェクト

多文化共生のまちづくりを進めるため、情報紙「共生のトビラ」の創刊や「やさしい日本語」研修会の開催など共生社会の推進に向けた取組を充実させたほか、東京2020オリンピックのホストタウンとして、異文化理解を深める取組を行った。また、女性の社会参画を推進するため、広報やセミナーでの普及啓発に取り組んだ。今後の課題は、**女性や外国人市民などが活躍できる場づくり**であり、性別や国籍などに関わらず誰もが地域に住む市民として、暮らしやすい地域づくりに向けて地域・事業者・行政が協力し取り組んでいく。

主な取組

★ = 地方創生推進交付金

★多文化共生の推進【国際課】

多文化共生情報紙「共生のトビラ」発行：第1号5月、第2号10月発行（各1,200部）
 FUPPY教室：開催時期12～2月
 地域共生コミュニティ会議：第1回開催日5/22、参加者38人
 第2回開催日6/26、参加者26人
 職員向け「やさしい日本語」研修会：開催日10/29
 事業所向け多文化共生講演会：開催日12/16、参加者32人
 外国人のための防災ハンドブック・外国人防災支援マニュアルの周知・啓発



FUPPY教室

★異文化への理解を深める取組【国際課】

グリーンライトアップ：実施期間3/17～21、袋井駅前広場
 アイルランド・フェスティバルinふくろい：開催期間3/1～31
 葛城北の丸（特別宿泊プラン・ランチの実施など）
 エコパ（アイルランドチームの展示など）
 市内飲食店8店舗（アイルランド音楽の演奏など）
 学生ペンパル交流事業：参加者袋井高校7人、アイルランド高校生7人



やさしい日本語研修会

・男女共同参画の推進【協働まちづくり課】

男女共同参画セミナー：開催日11/21、参加者89人
 テーマ「女性と防災～自主防災組織に女性の参画を～」
 地域で活躍する女性防災リーダー育成事業：開催日：12/19、12/26、参加者13人

外国人の不安①

知っている人や頼れる人が
いなくて不安・・・

～こんなことに取り組んでみよう～
ともに困難を乗り越えていくためのヒント！

まずはあいさつをしてみよう！

日本人でも外国人でも、災害時は、不安に思うのは同じです。
 そのようなときに、声をかけられると安心しませんか？
外国人の方が避難していたら、「こんにちは」「大丈夫ですか？」と日本語で声をかけることから始めましょう。
 日本語が伝わりにくいときは、「やさしい日本語」で話してみましょう。
 ※やさしい日本語は3ページをご覧ください。

ご近所の外国人とつながっておこう！

普段から地域に住む外国人の方と顔見知りになっておくと、いざというときに助け合える関係になります。
 ごみ捨てなどの日常生活や、地域のお祭り、イベント、子どもの学校など、普段からあいさつのできる関係づくりに地域で取り組んでいきましょう。事前に防災や避難についての情報発信もできるようになりますよ。



《外国人も支援者に！》

外国人は日本語の理解力により、災害時に配慮が必要となる方が多いですが、外国人の中にも、日本語を上手に話す人や、読み書きが得意な人もいます。
 また、外国人は、比較的若い方が多い傾向にあります。
 そのような方と、普段から顔見知りになっていけば、災害時には言葉の支援や物資の運搬などをお願いできるかもしれません。
 外国人の中には、できることがあれば協力したいと思っている方も多くいます。困ったときはお互い様。国籍にかかわらず、みんなで助け合うことが大切です。積極的に協力をお願いしてみましょう。



1

2

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
多文化共生を推進するための講座数 [↑] 【出典：総合計画、国際課】	講座	目標値	10	13	13	14	14	
		12 (R1)	10	15				
外国人市民の防火防災啓発活動の参加率 [↑] 【出典：総合計画、袋井消防本部予防課】	%	目標値	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	
		1.9 (R2)	1.9	3.2				
障がい者の法定雇用率を達成している民間企業の割合 [↑] 【出典：総合計画、しあわせ推進課】	%	目標値	50.0	42.0	44.0	46.0	48.0	
		36.5 (R1)	40.4	39.0				
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	
		50 (H30)	53	54				
市の審議会等の女性委員の割合 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	40.0	37.5	38.1	38.7	39.3	
		36.3 (R1)	36.9	38.3				
合計特殊出生率 [↑] 【出典：総合計画、総合戦略課】	-	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	
		1.79 (H29)	1.57	公表後 (県)				
袋井市が子どもを産み育てやすい環境だと感じている人の割合 [↑] 【出典：市民意識調査】	%	目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	
		45.8 (H30)	45.5	50.5				

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
よくできました		目標値以上	5点	5 ~ 4.5点
いい調子です		目標値未満~70以上	4点	4.4 ~ 3.5点
もうひと踏ん張り		70未満~基準値	3点	3.4 ~ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4 ~ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
 ※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

4.0点

TOPICS

障がい者アートの魅力を発信

市教育会館で、市内の福祉事業所に通う方々が創作したアート作品を展示する「風を創るひとたち展」を開催し、豊かな色彩でエネルギー溢れる障がい者アートの魅力を発信しました。

静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」が主催し、市教育委員会が後援。障がいのある方がもっと気軽に、もっと自由に作品を創作し、社会に発信する（たくさんの人とつながる）機会を創出していきます。

障がい者アート×地域づくり

障がいのある方が もっと気軽に、もっと自由に作品を創作し、社会に発信する（たくさんの人とつながる）機会を創出したい

「支え合い! 誰もが活躍するまちづくり」

市内の福祉事業所の方々のアート作品を一堂に展示

袋井版「風を創る人たち展」開催中

袋井市教育会館 2021.11.1 @袋井市教育会館

戦略を支える取組

総合戦略では、国の第2期総合戦略を勘案して基本目標を次のとおり定めています。
3つの挑戦と基本目標との対応表は以下のとおりです。

- 基本目標 1 活力みなぎる産業のあるまちづくり
- 基本目標 2 快適で魅力にあふれ、安全・安心に暮らせるまちづくり
- 基本目標 3 子どもがすこやかに育つまちづくり
- 基本目標 4 市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

3つの挑戦	重点戦略	基本目標			
		活力みなぎる産業のあるまちづくり	快適で魅力にあふれ、安全・安心に暮らせるまちづくり	子どもがすこやかに育つまちづくり	市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり
挑戦1 「ふくろい人」 ひとづくりへの挑戦	新しい時代を生き抜く人づくり			○	
	社会や産業を支える人づくり	○		○	
	挑戦する人を応援する土壌づくり	○		○	○
挑戦2 「しっかり稼ぐ」 しごとづくりへの挑戦	新たな産業と地域社会づくり	○	○		
	稼げる農業づくり	○			
	「ふくろい」ならでの暮らしづくり	○	○		
挑戦3 「支え合い」 誰もが活躍する まちづくりへの挑戦	人生100年時代「全世代が活躍する」まちづくり	○	○	○	○
	支え合う多様な仲間づくり		○	○	○
	多様性を強みとするまちづくり		○	○	○

業績指標の評価

(1) 活力みなぎる産業のあるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）[↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	億円	目標値	5,880	5,960	6,040	6,130	6,200	
		5,880 (H29)	6,061 (R1)	公表 12月				
観光交流客数[↑] 【出典：総合計画、産業政策課】	千人	目標値	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	
		4,753 (H30)	2,403	3,321				
主要農産物産出額[↑] 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	
		72.8 (H30)	66.0	70.7				

(2) 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
地区計画などの実施面積 [↑] 【出典：総合計画、都市計画課】	ha	目標値	355	370	370	370	370	
		308 (H30)	355	355				
一人1日あたりの可燃ごみの排出量 [↓] 【出典：総合計画、環境政策課】	g	目標値	537	530	524	517	511	
		543 (H30)	556	523				
河川改修延長の進捗 [↑] 【出典：総合計画、道路河川課】	m	目標値	502	625	765	855	995	
		258 (H30)	511.6	619.3				
人身事故件数 [↓] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	560	545	530	515	500	
		559 (R1)	446	513				

(3) 子どもがすこやかに育つまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
合計特殊出生率 [↑] 【出典：総合計画、総合戦略課】	-	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	
		1.79 (H29)	1.57	公表後 (県)				
保育所待機児童数 [↓] 【出典：総合計画、すこやか子ども課】	人	目標値	0	0	0	0	0	
		58 (H30)	2	0				
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合 (小6：国語・算数、中3：国語・数学) [↑] 【出典：学校教育課】	%	目標値	50.0	80.0	80.0	100.0	100.0	
		50.0 (R1)	中止	0				

(4) 市民がいきいきと活躍し健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度
お達者度(男性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	
		17.78 (H28)	18.77 (H30)	公表 9月				
お達者度(女性) [↑] 【出典：総合計画、健康づくり課】	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	
		21.18 (H28)	21.54 (H30)	公表 9月				
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合 [↓] 【出典：総合計画、健康づくり課】	%	目標値	10.4	10.3	10.2	10.1	10.0	
		10.5 (H30)	10.5 (R1)	10.3 (R2)				
総合健康センターでの総合相談件数 [↑] 【出典：総合計画、地域包括ケア推進課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	5,000	
		3,423 (H30)	5,317	5,689				
自治体加入率 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
		85.3 (R1)	84.5	84.7				
協働まちづくりセンターの登録団体数(市民活動団体) [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	
		53 (H30)	43	44				
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数 [↑] 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	
		50 (H30)	53	54				

平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

第1弾 ㉔2月補正⇒㉗全額繰越

総額：116,161千円

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【消費喚起・生活支援型】**
- 事業費 **72,653千円（国費10/10）**
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
地域における消費喚起策「**元気はつらつクーポン券**」（プレミアム付き地域商品券）の発行
発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円（プレミアム率20%/66,000千円）

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/基礎分】**
- 事業費 **43,508千円（国費10/10）**
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
・「**地方版総合戦略**」の策定のほか、**まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業**
ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、
全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾 ㉗11月補正

総額：20,000千円

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乗せ交付（タイプⅠ）】**
- 事業費 **10,000千円（国費10/10）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要
・「**3 Days Worker's Office構想**」策定事業
「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

- 交付金名 **地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乗せ交付（タイプⅡ）】**
- 事業費 **10,000千円（国費10/10）**
- 交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）
- 施策の概要
・**まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業**
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「3 Days Worker's Office構想」実装化事業

- ・基礎調査(㉗実施)により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・T P Pを見据えたクラウンメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大(トップセールス、海外バイヤー招聘ほか)
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上(英検受験助成ほか)、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

- 交付金名 **地方創生推進交付金(1年目/H28-30) <第39回地域再生計画認定>**
- 事業費 **50,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市PR動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、ロボットプログラミング教育支援 など

- 交付金名 **地方創生拠点整備交付金<第41回地域再生計画認定>**
- 事業費 **16,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画

- ・縁側づくり(事務室の増築)と土間(庇)の設置
ENGAWA(事務室)ヒトとコトの交流ゾーン/DOMA(庇)モノの交流ゾーン
- ・備品購入(老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新)

第6弾

⑲当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（2年目／H28－30）〈第39回地域再生計画認定〉

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・ 交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・ オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・ 人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

第7弾

⑲交付（国委託事業）

総額：20,004千円

○事業名 生涯現役促進地域連携事業（1年目／H29－31）

○事業費 20,004千円（国費10／10）

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・ 高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・ 新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・ 高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第8弾

⑳当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H29－30）〈第39回地域再生計画認定〉

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・ 特産物やラグビーW杯を契機にした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・ オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・ 人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **132,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **67,600千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／H29－31）**

○事業費 **20,099千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第11弾

㊸当初

総額：195,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30-32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **138,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
 - 「稼ぐチカラ」向上戦略**
 - ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション・ライトアップ、自動運転走行実証 など
 - ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／H30-32）〈第47回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **57,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
 - 「日本一健康文化都市」実現戦略**
 - ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
 - ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第12弾

㊸交付（国委託事業）

総額：20,108千円

- 事業名 **生涯現役促進地域連携事業（3年目／H29-31）**
- 事業費 **20,108千円（国費10／10）**
- 交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要
 - ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業**
 - ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
 - ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
 - ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第13弾 ②当初

総額：151,500千円

- 交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）＜第47回地域再生計画認定＞
- 事業費 **95,000千円**（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

採択
内閣府

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
夜宵プロジェクト、ミズベリング、サイクルロードレース、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯関連事業、ICT・SNSを活用したシティプロモーション など

- 交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）＜第47回地域再生計画認定＞
- 事業費 **56,500千円**（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

採択
内閣府

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第14弾 ②9月補正

総額：30,000千円

- 交付金名 地方創生推進交付金（1年目／R2－R4）＜第57回地域再生計画認定＞
- 事業費 **30,000千円**（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

採択
内閣府

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した実証事業

令和3年度 「地方創生の充実・強化」

第15弾 ③当初

総額：116,000千円

- 交付金名 地方創生推進交付金（2年目／R2－R4）＜第57回地域再生計画認定＞
- 事業費 **116,000千円**（国費1／2）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

採択
内閣府

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピー健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している。



ふくろい部会



首都圏部会



金融機関支店長会議

(1) 地方創生会議委員名簿 (R4.5 末現在/順不同・敬称略)

【ふくろい部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
(株)杏林堂薬局	取締役副会長	青田 英行	農林環境専門職大学	学長	鈴木 滋彦
ReaLabo (料理講師、ITサポート)	代表	足立 美和	袋井商工会議所	副会頭	豊田 浩子
山名学園山名幼稚園	理事長	諸井 理恵	静岡理工科大学	総務部長	久留島 康仁
安間製茶	代表	安間 孝介	アスリートクラブ主宰	—	岡田 千詠子
袋井市観光協会	理事	大場 和明	静岡大学情報学部	教授	遊橋 裕泰
日本貿易振興機構浜松貿易情報センター	所長	永盛 明洋	ヒンディー語講師	—	下田 孝子

【首都圏部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
凸版印刷(株)	特別相談役	足立 直樹	ココカラファイン(株)	代表取締役社長	塚本 厚志
(株)大和総研	主席研究員	内野 逸勢	イービストレード(株)	代表取締役社長	寺井 良治
ネオファーマージャパン(株)	代表取締役	河田 聡史	(株)大和コンピューター	代表取締役社長	中村 憲司
(株)三菱総合研究所	主席研究員	北井 渉	楽天損害保険(株)	常務執行役員	幡鎌 大介
(株)JTB	人財開発部長	鈴木 良照	(株)コクーン	代表取締役	松本 朋丈

【金融機関支店長会議】

静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	静岡県労働金庫	浜松磐田信用金庫
島田掛川信用金庫	遠州中央農業協同組合	日本政策金融公庫		

(2) 地方創生会議開催状況

[ふくろい部会 (委員：6人【～H30】、10人【R元～】)]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.19 (火)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.21 (火)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン(素案)②政策パッケージ(骨子案)
3	H28.6.29 (月)	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.6.28 (水)	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.6.27 (水)	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.8 (月)	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.13 (木)	袋井市役所	第2期総合戦略素案について、意見交換
8	R2.7.6 (月)	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換
9	R3.11.8 (月)	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換

[首都圏部会 (委員：10人)]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.12 (火)	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.31 (金)	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン(素案)②政策パッケージ(骨子案)
3	H28.7.3 (月)	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.7.3 (月)	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.7.3 (火)	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.1 (月)	都市センターホテル	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.12 (水)	NIPPON GALLERY	第2期総合戦略素案について、意見交換

令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により個別に意見聴取

[金融機関支店長会議 (委員：8人)]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.26 (火)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	H27.7.29 (水)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン(素案)②政策パッケージ(骨子案)
3	H27.10.20 (金)	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン②総合戦略/政策パッケージ
4	H28.3.2 (水)	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について(調査依頼)
5	H28.7.22 (金)	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	H29.2.15 (水)	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について、3 Days Worker's Office構想について
7	H29.11.1 (水)	袋井市役所	平成28年度地方創生取組結果の概要政策立案に向けた意見交換
8	H30.8.23 (木)	袋井市総合センター	平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要政策立案に向けた意見交換
9	R元.7.17 (水)	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
10	R2.3.2 (月)	袋井市総合センター	第2期総合戦略素案について、意見交換
11	R2.7.15 (火)	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換、地方創生の推進に係る連携協定について
12	R3.12.10 (金)	袋井市役所	地方創生事業評価、地域の現状と国の新たな経済対策を踏まえた今後の展開方策について意見交換

地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

No.	開催日	場所	内容
1	H27.12.19 (土)	エコパ スタジアム	ラグビーワールドカップの魅力について 【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長 伊達亮氏 メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり 【講師】EY総合研究所(株) 未来社会・産業研究部長 小川高志氏
2	H28.1.21 (木)	袋井市役所	労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～ 【講師】(株)リクルートワークス研究所 主任研究員 戸田淳仁氏
3	H28.2.18 (木)	袋井市役所	ホームステイ×まちの国際化 ～我が家は、ときどきインターナショナル～ 【講師】Homestay in Japan/(株)ネクステージ 代表取締役 竹島千歳氏
4	H28.11.9 (水)	袋井市役所	I C Tまちづくりの近況と今後の展望について 【講師】東京大学大学院情報学環 教授 須藤修氏
5	H29.9.1 (金)	袋井市役所	シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望について 【講師】(一社)シェアリングエコノミー協会 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積田有平氏
6	H30.12.25 (火)	袋井市役所	変化の激しい時代を生きる子ども達のこれからの教育とは 【講師】小金井市立前原小学校校長 松田孝氏、 Google Japan Google for Education マーケティング統括部長 スチュアート・ミラー氏
7	H31.3.15 (金)	袋井市役所	地域所得力調査の結果から見る袋井の現状と課題 【講師】(一財)静岡経済研究所調査研究部長 山田慎也氏
8	R元.6.25 (火)	袋井市役所	塩尻市に見る産学官民による地域I C Tの推進 【講師】総務省地域情報化アドバイザー 金子春雄氏
9	R元.12.17 (火)	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山崎清氏
10	R3.11.9 (火)	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山崎清氏

金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

(1) 連携協定の状況

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光PR
4	掛川信用金庫	H28.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

(2) 金融機関との連携による取組事例

■ 共通事項 (全ての金融機関が参画)

- ・地域内就労需要供給実態調査
- ・金融機関支店長会議

■ 個別事項

- ・磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介(山口県宇部市)
- ・静岡銀行 地方創生特設PRブース設置(袋井支店)
- ・浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援
クラウドファンディング推進
- ・遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR
- ・スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
- ・静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR

民間企業等との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

No.	企業等名	調印日	取組テーマ
1	凸版印刷(株)	R3.1.29	ICTの推進、市民サービスの向上、地域の産業振興・中小企業の支援、地域づくり・地域活性化 など
2	袋井商業高校、袋井高校、特別支援学校	R3.12.23	社会教育及び学校教育の充実や人材育成、まちづくりへの参画、地域産業の振興及び新産業の創出、地域づくり・地域活性化 など

外部人材の登用

No.	分野	氏名	役職	派遣元	任期
1	ICT	山本明央	理事	総務省	H31.4~R3.7
2	デジタル	鈴木一生	専門官	(株)NTTドコモ	R2.4~R4.3
3	ICT教育	柏萌菜美	専門官	凸版印刷(株)	R3.4~R4.3
4	シティプロモーション	神谷高宏	専門官	(株)JTB	R3.4~
5	ICT教育	一ノ宮美香	専門官	凸版印刷(株)	R4.4~
6	ICT	小俣一樹	専門官	(株)NTTドコモ	R4.4~
7	ICT	鳴瀬邦彦	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	R4.4~
8	ICT	平山高士	専門官	(株)日立システムズ	R4.4~

挑戦する人を応援するまち



ふくろい
FUKUROI